

アリ

用水ハ本水系ノ水利事業中最重要ナルモノニシテ各川共至ル處ニ引用セラル就中最大ナルハ樋田ノ上流ニ於テ三十餘間ノ廣キ河身ニ堅固ナル石造堰堤ヲ築キ右岸ニ取入レ中津平野ノ一部ヲ灌漑スルモノニシテ荒瀬堰ト云フ其ノ他少量ノ水量ヲ以テ普通ノ木製腰掛水車或ハ天井掛水車ヲ廻轉シテ製材ヲ行ヘルモノ十數箇所アリ

漁業ハ單ニ夏期里人ノ娛樂トシテ鮎其ノ他ヲ漁獲スルモノアレトモ其ノ量多カラス

四、水力地點 本水系ノ下流部以外ハ山岳相迫レル間ヲ流下スルニモ不拘勾配概シテ緩ニシテ水量亦多カラサレハ有利ナル水力地點ヲ得ルコト困難ナリ加フルニ耶馬溪ノ勝ヲ害フ虞アルヲ以テ實際ノ起業ハ至難ナルヘキカ  
本流ニ於テハ槻木村新谷ヨリ溝部村吉野ニ至ル間勾配比較的急ナレハ利用スヘク尙三郷村中摩ヨリ下郷村大島ニ至ル間及山移川トノ合流點ヨリ城井村戸原ニ至ル間ノ河川屈曲ノ部分並支流山移川竹ノ弦杉畑間等ハ利用スヘキモ流量減少著シケレハ有利ナルコト能ハス  
本水系ニハ許可地點ナシ

此ノ附近ニ於テハ地形概シテ緩ナレトモ其ノ北方ニ於テハ東西一帯ニ山岳簇立シ流域ヲ稍二分セリ即チ河川ノ西ニ鬼落山石山妙見山等アリ東ニ米神山大藏山城山和尙山等アリ何レモ高距二〇〇〇尺ニ達セサレト勾配急峻ナリ

是等ノ山岳ノ北部ハ丘陵トナリ中津平野ニ臨メリ

(二)地質 本流域ニ於テ鶴見岳由布岳等ノ火山ハ主トシテ角閃安山岩ヨリ成レリ之ヨリ北部一帯ノ山岳丘陵モ大體ニ於テ安山岩等ヨリ成リ西部山國川流域ニ近キモノハ集塊岩質ヲ帶ヒタリ斯ノ如ク流域ノ大部分ハ安山岩ヨリ成レト其ノ間ニ介在シ河川ノ平地ニハ三紀層ヨリ成ル所及沖積層ヨリ成ル所アリ而シテ是等山岳ノ北邊ノ丘陵ハ洪積層ヨリ成リ河岸海岸附近ハ沖積層ヨリ成レリ

(三)林野状態 本水系ノ流域ハ下流部ノ長洲平野ヲ除クノ外ハ殆ト山岳ノ連亘スル所ニシテ奥地ニハ森林アレトモ河身ニ近クニ從ヒ漸次疎林トナリ原野トナリ林況良好ナラス。山地ハ全流域面積ノ約八割ヲ占メ國有林ハ其ノ一割ニ當ル即チ津房川ノ水源地由布岳鶴見岳等ノ峻嶺及合流點附近ニハ其ノ潤葉樹林アリ人見岳立石山一帯ニハ樹木全クナキ原野アリ。山岳ノ中腹以下ハ概ネ民有ニ屬

### 第五章 驛館川水系

#### 一 流域

(一)地形 驛館川水系ノ流域ハ大分縣ノ北部ニ位シ大部分宇佐郡ニ在リ尙速見玖珠兩郡ニ跨リ其ノ形略長方形ヲナシ東西五里南北八里ニ亘リ面積二七方里アリ

流域ノ南端ニハ鶴見由布ノ火山アリ高サ五〇〇〇尺内外截頭圓錐形ヲナシ殊ニ由布岳ハ其ノ形美シク豊後富士ノ名アリ鶴見岳ノ北ニ接シ内山硫黃山アリ又由布嶽ノ北西ニ飛岳立石山アリ立石山ノ北東ニ雞山アリ是等ハ相連リテ一ノ圓形ヲナシ中ニ塚原ノ平野ヲ抱ケリ。之ヨリ北方二里許ノ間一帯ノ地ハ南北ニ向ヘル多數ノ隆起帶ヲナシ數多ノ小支流ヲ分テリ此ノ附近ニ於テハ秀峰ナク河畔ニ平地アル外至ル所波狀ノ起伏連リ流域ノ東西兩境共ニ著シキ分水嶺ヲ見ス而シテ所々ニ熔岩ノ斷崖アリテ山腹又ハ河岸ニ屹立シ其ノ内ニアリテモ西方驛館川上流部一帯ノ地ニ於テハ隆起帶ハ却ツテ東西ニ向ヒ鹿嵐山ノ稍著シキ外地形起伏複雜ヲ極メ山頂至ル所斷崖連リ或ハ絕壁周リテ山卓ヲナシ奇觀頗ル多シ

スル潤葉樹林ニシテ下流ニ向ヒ河身ニ近ツクニ從ヒ濕潤林トナル又諸所ニ廣漠タル原野アリ全林地ヲ通シ潤葉樹林針葉樹林ハ林積相半シ各其ノ二割五分ヲ占ム混森林ハ一割五分ニシテ殘部ハ皆野草多キ原野ナリ

農耕地ハ全面積ノ二割ニ近ク上流中流部ノ沿岸ニ狹長ノ平地開ケタレトモ其ノ過半ハ下流部ノ長洲平野ニアリ水田ハ耕地ノ七割ヲ占ムルモノニシテ本流並津房川ノ河畔ニ各全水田面積ノ二割其ノ他深見川ノ沿岸ニモ相當開ケタレトモ其ノ四割餘ハ長洲平野ニ在リ。畑地ハ過半下流平野ニアレトモ本支流ノ沿岸ニ亦相當點在セリ何レモ地方ノ主要生産地タリ

(四)氣象 海岸地方暖ニシテ年平均氣溫一六度餘山間部寒クシテ一五度許ナリ。雨量ハ上流多ク年平均雨量一六〇〇糎ニ近ク下流少クシテ一四〇〇糎許ナリ。降雨日數ハ上流一〇〇乃至一五〇日下流部一〇〇日許ナリ

#### 二 河川ノ狀況

(一)概説 驛館川水系ハ驛館川津房川深見川等ヨリ成リ由布岳立石山等ノ急峻ナル山岳ノ間ニ源ヲ發シ相迫レル山脚ヲ深ク割刻シテ北流シ長洲平野ニ出テテ周防灘ニ注

(二)河況

驛館川本流 玖珠郡森町ノ北東ノ高地ニ源ヲ發ス。本川ハ之ヲ大別シテ三ノ區間トナスヲ得其ノ第一ノ區間ハ水源ヨリ宇佐郡院内村齋藤迄ニシテ川ハ急峻ナル山岳ノ間ヲ流過シ河幅五六間乃至一〇間ニシテ河床河岸ハ砂礫ヨリ成リ轉石多ク散在シ河川勾配六〇分ノ一内外ナリ。第二ノ區間ハ齋藤ヨリ津房川ノ合流スル迄ニシテ支流少ク北流ス河床河岸ハ殆ト岩盤ニシテ露出シ河幅一〇間内外ナリ。河川ハ概シテ「」形ノ横断面ヲ有シ河岸高ク屹立ス中ニ人工水路ノ如キ狀ヲ呈セル所アリ東院内村副以下ニ至リテ河岸ハ土砂礫ノ層削刻サレタル所アレトモ打上以下再ヒ岩盤トナリ流勢緩カニシテ淵トナルコト多シコノ區間ハ河畔ニ狹長ノ耕地アリ

第三ノ區間ハ二川村三又以下ニシテ津房川ヲ併セ水量倍加ス河幅十餘間乃至三〇間ニシテ河岸ニ岩盤露出スレトモ間モナク砂礫ヨリ成リ河床ニハ轉石少ク主トシテ砂礫ヨリナル勾配頗ル緩ニシテ長洲平野ヲ北ニ貫流シ長洲町ニ於テ海ニ注ク

津房川 津房川ハ驛館川ノ一大支流ニシテ由布岳ノ北麓ニ源ヲ發シ屈曲北流シテ二川村三又ニ於テ本流ニ合ス

ト異リ月平均流量ノ最小ハ却ツテ六月乃至八月ニ起リ最大ハ三、四月又ハ九、十月ニ起ルコト多シ。一年間流量變化ノ模様ヲ見ルニ冬季ハ概シテ少ク二月ヨリ四月ニ至ル間漸次増加スレト五月ニ入レハ用水ノタメ減少シ梅雨期ニ

驛館川水系流量表 (本省調査)

Table with columns for Rank, River Name, Watershed, and Flow Volume (Annual, Max, Min, etc.) for the Yaguchi River system.

備考 本測水所ノ上流ニハ用水取入口三アリ其ノ引用水量ハ測水所直上ノモノ最大ニシテ五月ヨリ九月ニ亘リ三〇個ヲ取入ル

三、水利及治水

(一)概説 本水系ニ於テハ中流以下ニ局部的護岸等行ハレシ外纏リタル治水工事ナシ。本流ニハ大正五年十月十二日河川法準用認可サレタリ。用水ハ極メテ多ク水利事業中最重要ノモノナリ。漁業ハ多少行ハル。流域内ニハ

鬱林少ク木材ハ主トシテ陸運ニ依ルヲ以テ流材ナシ

許可水力地點ニアリ工既ニ成レリ

(二)漁業 本支流共相當行ハル。即チ春季ヨリ秋季ニ至

コノ間ヲ別チテ二トナス其ノ第一ノ區間ハ水源ヨリ津房村若林迄ニシテ川ハ急峻ナル山岳ノ脚部ヲ深ク削刻シテ流過ス河幅五間乃至一〇間河岸ハ岩盤或ハ砂礫ノ層ニシテ高ク屹立シ二〇尺乃至五〇尺ノ絶壁ヲナス河床ハ多ク砂礫ナレトモ轉石介在シ諸所ニ段流ヲ成ス勾配頗ル急ニシテ二五分ノ一内外ナリ。第二ノ區間ハ若林以下合流點迄ニシテ兩岸ニ平地多ク水田トナレリ。若林以下安心院村木裳ニ至ル間ハ河幅七八間ヨリ十數間ニ達シ河床河岸共ニ砂礫ヨリ成リ轉石アレトモ多カラズ勾配一〇〇分ノ一乃至二五〇分ノ一ナリ。木裳ニ於テ支流深見川ヲ容レ右折シテ飯田ニ至リ更ニ一支流ヲ合ス之ヨリ川ハ流量漸ク増加シ蜿蜒屈曲シテ北西ニ流ル。河岸ハ山脚ノ岩盤ヨリ成ルニ非スンハ砂礫ノ層ヲ削レルモノニシテ河床ハ主トシテ砂礫ヨリ成リ轉石亦少カラス。安心院村廣瀬ノ下流ニハ河床全ク岩石ヨリ成リ夥シキ岩塊轉石散亂シ勾配急ナル所アレトモ其ノ他ニ於テハ水勢穩カニシテ勾配緩ナリ

(二)流量 本水系津房川上流部ニハ湧水アリ四季ヲ通シ

流量豊富ナレト中流以下並他ノ本支流ニ於テハ用水ヲ取入レラルルコト多キヲ以テ流量増減ノ模様著シク他河川

入リテヨリ八月末迄ハ降雨アレハ急ニ増水スレト直ニ減少シ一年間ノ最小最大トモ多ク此ノ間ニ起ル而シテ用水

期終レハ流量増セト十二月頃迄次第ニ減少ス

ル間釣籠又ハ投網ヲ以テ漁獲ス鰻最多ク鮎之ニ次キ尙鰻鮎其ノ他ノ雜魚アリ年産額一〇、〇〇〇圓ニ近シ

(三)用水 本流域内ニハ水田凡ソ五、五〇〇町歩許アリ其

ノ内支流津房川ノ合流スル以上ノ沿岸ニハ本支流ヲ通シ約三、〇〇〇町歩ニ及ブ。下流部ノ長洲平野ニハ沃野廣ク展開セリ是等ニ灌漑スル大小幾多ノ用水取入口ハ所在ニ設ケラレ相當堅固ナル堰堤ヲ以テセリ就中大ナル用水取入口及灌漑反別ヲ表示セハ次ノ如シ

用水表

河川名	取入口位置	灌漑反別
願館川	宇佐郡鹽川村大字中原	一〇九五
同	同 郡兩川村大字廣瀬	五一九
同	同 郡願館村大字川都	六七八
同	同 郡東院内村大字副	一二二
同	同 郡宇佐村大字南宇佐	四七
同	同 郡四馬城村大字上矢部	九〇
同	同 郡安心院村大字南毛	三二
同	同 郡兩川村大字廣瀬	
同	同 郡津房村大字五郎丸	
同	同 郡安心院村大字戸方	一五〇
同	同 郡安心院村大字莊	
同	同 郡津房村大字南端	一五〇
同	同 郡津房村大字若林	
同	同 郡津房村大字楢本	
同	同 郡東院内村大字副	五〇
同	同 郡南院内村大字蕨良	三五五
同	同 郡龍王村大字大	三〇七

願館川水系選定地點一覽表

同	同 郡安心院村大字下市	一八〇
佐田川	同 郡佐田村大字佐田	七六

四、水力地點

(一)概説 本水系ニ於テ水力ニ利用シ得ヘキハ本流ト津房川ニシテ何レモ兩者合流點以上ニ限レリ然レトモ本支流共流域面積狭ク用水多キヲ以テ流量少ク其ノ割合ニ勾配急ナラサルヲ以テ五〇〇馬力以上ノ地點少ク有利ナル地點ハ殆ト之ヲ見ス只津房川上流部ハ稍良好ナリ許可地點津房川下流部ニニアリ工既ニ成レリ

願館川水系許可地點一覽表

種別	五百馬力—千馬力		合計	
	地點數	馬力數	地點數	馬力數
發電開始	一	一	一	一
未開始	二	一、三二九	二	一、三二九
合計	二	一、三二九	二	一、三二九

地點數	湯		水		馬	
	以千馬力以上	以千馬力以下	合計	以千馬力以上	以千馬力以下	合計
一	一	一	一	一	一	一
合計	一	一	一	一	一	一

願館川水系選定水力地點表

水量ハ測水ノ結果並測水所ノ直上流ニ於ケル用水量等ヨリ推定セリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水長路	面積	發電率	年平均馬力數	等級
一、二、三四	津房川	一	大分縣速見郡南端	同 郡南端	湯水 三九 低水 三八 平水 五〇	三二七	一〇五三	一四〇	三三	一〇〇〇	一〇三三	乙

(二)水力地點ノ説明

願位一、二、三四 元調査局地點一、三、八ニテ其ノ儘選定セルモノナリ水路ハ右岸トシ開渠ト隧道トヲ用フヘシ。本地點ト平行シテ兩岸ニ用水路アリ灌漑期左岸ノモノハ三個許右岸ノモノハ一〇個許ヲ取入ル。本地點取入口ハ左岸用水取入口ヨリ少許下流ニアレト右岸用水取入口ノ上流ニアルヲ以テ之ニ分水スルヲ要ス地點表流量ニハ之ヲ控除セリ

材料運搬等ハサマテ不便ニアラス

第六章 桂川水系

一、流域

(一)地形 桂川水系ノ流域ハ大分縣西國東郡ニ在リ國東

半島ノ西頸部ヲ占ム其ノ形狀略三角形ニ近ク東ヨリ西ニ傾斜シ面積九方里アリ。本流域ノ東北隅ニアル兩子火山ハ阿蘇火山脈ニ屬スル高峰ニシテ半島ノ中軸ヲナシ幾多ノ支脈ハ輻射狀ニ延ヒテ多クノ河川ヲ出シ恰モ傘ノ如シ即チ西走セルモノハ本水系ト廣瀬川トノ分水嶺ヲナシ西南ニ延ヒタルモノハ田染川ト都甲川ト別チ南方ニ向フ一脈ハ安岐川水系トノ分水嶺ヲナセリ是等ハ何レモ低山性ノ丘阜ニシテ緩ク流域内ニ傾斜シ水田トナリテ盡ク南ヲ限レル田原山ノ一帶ハ頗ル峻峻ニシテ田原山西叡山華岳山其ノ主峰ニシテ高距何レモ一、五〇〇尺乃至二、〇〇〇尺ニ及ヒ熔岩ノ裸出多ク急ニ流域内ニ傾ク川ハ是等丘陵ノ間ヲ流レ河畔ニ狹長ノ耕地ヲ拓キ屈曲西流シ河口ニ近ク高田平野ヲ成シ海ニ注ク

(二)地質 本流域ハ阿蘇火山脈ノ走ル所ニシテ主トシテ